

## 第 26 回天ヶ瀬ダム再開発事業景観検討委員会 議事要旨

開催日時：平成 26 年 1 月 24 日（金）14：30～15：30

開催場所：大成建設 現場事務所

委員：近藤委員長、吉田委員、北村委員、山本委員、吉水委員、岡田委員代理、島峯委員代理  
（中村委員は欠席） 以上敬称略

事務局：琵琶湖河川事務所

### [審議概要]

天ヶ瀬ダム再開発事業実施に伴い必要となるトンネル式放流設備について、現場視察を経て、これまでの委員会での指摘事項に対する報告のほか、詳細設計にあたり管理上の観点からの設備の追加などの変更点について、景観的な観点から各委員より意見及び助言を頂いたものである。模型により、対象施設周辺の景観を様々な角度・視点からご覧頂いた。これらに基づき、活発なご議論をして頂いた。

- (1) 規約の変更
- (2) 第 25 回委員会議事要旨
- (3) 議事
  - ① 現場対応の概要
  - ② ゲート室部建屋デザインの修正
  - ③ 構造物周辺の緑化
  - ④ 緑化ガイドライン（案）
  - ⑤ 旧ガーデンズ天ヶ瀬跡地の空間利用
  - ⑥ その他現場でお気づきの点について
  - ⑦ 今後の予定

### [議事概要（総括）および対応方針]

- (1) 規約の変更  
特になし
- (2) 第 25 回委員会議事要旨  
特になし
- (3) 議事
  - ① 現場対応の概要  
（吐口部上部の落石防護工）
    - ・モルタル吹付けを撤去後に、岩への緑化が出来ない場合は、宇治川の溪谷の一部と捉えて岩を露出させることの検討をお願いしたいとのご意見をいただいた。

(ゲート室部)

- ・切土法面の最下段のコンクリート吹付けのゲート室施工後の撤去、法肩の侵入防止柵の再塗装についてご了解頂いた。
- ・府道の擁壁・法面について、緑化する場合は、敷地内の排水処理に気を付け、道路への影響がないようにして欲しいとの要望を伺った。

② ゲート室部建屋デザインの修正

- ・建屋デザインについて、レンガ張りも含めて意匠の提案をもう一度して欲しいとの要望を伺った。

③ 構造物周辺の緑化

(流入部)

- ・低木主体とした際に、高木が突出した印象とならないよう、大小2～3本の群植とする検討をお願いしたいとの意見をいただいた。吐口部も同様。
- ・踏み荒らされることも考えられるため、ガードパイプより内陸側の低木はガードパイプ寄り、あるいはガードパイプの外側へ充実させることの検討をお願いしたいとの意見をいただいた。
- ・擁壁上部の平場と、車道との境界について、不要であればガードレールの設置は控えられるたいとの要望を伺った。

(ゲート室部)

- ・擁壁に近い部分については、構造物に影響がない高木配置としていただきたいとの要望を伺った。

(吐口部)

- ・吐口部縦壁・管理用扉への通路・植栽基盤としての盛土の位置関係を考慮して、構造部材厚に影響を与えない範囲で盛土厚を増やせるような配置計画（縦壁がある箇所直上を厚くするなど）の検討をお願いしたいとの意見をいただいた。
- ・構造物形状の変更に伴い、金井戸の滝が人工的な印象とならないような検討をお願いしたいとの意見をいただいた。

④ 緑化ガイドライン（案）

- ・「土壌改良」の内容を盛り込むことについて検討をお願いしたいとの意見をいただいた。
- ・植栽直後の管理や定期的な点検など、モニタリングの実施について評価頂いた。

⑤ 旧ガーデンズ天ヶ瀬跡地の空間利用

- ・植栽するサクラとモミジのほか、常緑の中木の樹種展開について検討をお願いしたいとの意見をいただいた。
- ・既存のメタセコイアを活かした計画のほか、ノウゼンカズラなどの適用（夏の景色

の1つとして)について、検討をお願いしたいとの意見をいただいた。

- ・周辺に駐車場がないことから、広場中央部への植栽は避け、駐車スペースとして活用するなどの検討をお願いしたいとのご意見を伺った。

⑥ その他現場でお気づきの点について

- ・白虹橋付近から天ヶ瀬ダムへの歩行者動線を早めに確保するように、要望を伺った。
- ・周辺は道路照明が無いことから、防護柵のダークブラウン塗装とした際の夜間の視認性について確認いただきたいとの要望を伺った。

⑦ 今後の予定

特になし

以 上